

施設名	由良洞隧道								
所在地	和歌山県 日高町 池田～	所在地2	和歌山県 由良町 阿戸						
管理者等	和歌山県								
施設種類・分野	道路			隧道					
施設概要 (明治期との関連含む)	明治22(1889)年1月竣工。延長139.50m、高さ3.35m、幅3.30mの現役最古級の道路用煉瓦トンネル。トンネル内側壁は、長手積み煉瓦、素掘り(岩盤)、素掘り+コンクリート吹きつけが交互にあり、強度の弱い部分にのみ煉瓦を使用したものと考えられる。(文献1より抜粋)								
築造時期	明治中期				時期詳細	明治22年			
関連人物	由良守応								
関連企業									
トピックス (特徴的エピソード)	池田側のポータルの全面に鳥居形の陽刻のあることが特徴的な隧道である。このほか、笠石下にはデンティルによる装飾があり、アーチ部分は三重の煉瓦で巻かれている。「由良洞」と書かれた石版が池田側ポータル上部にあったが、昭和50年代に行われた阿戸側ポータルの改修工事の際に行方不明になったようである。なお、その石版の文字は、地区の発展と関連が深い馬車鉄道の先駆者である由良守応が揮毫したものといわれている。(文献1より抜粋)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	—	選奨土木遺産 (土木学会)	—	文化財 (文化庁)	—	近代化産業遺産 (経産省)	—	世界遺産 (ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	文献1: 和歌山県の近代化遺産—和歌山県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書—(平成19年3月 和歌山県教育委員会)								
管理者等のHP (URL等)	(和歌山県HP) <a href="http://www.pref.wakayama.lg.jp/index.html">http://www.pref.wakayama.lg.jp/index.html</a>								

